

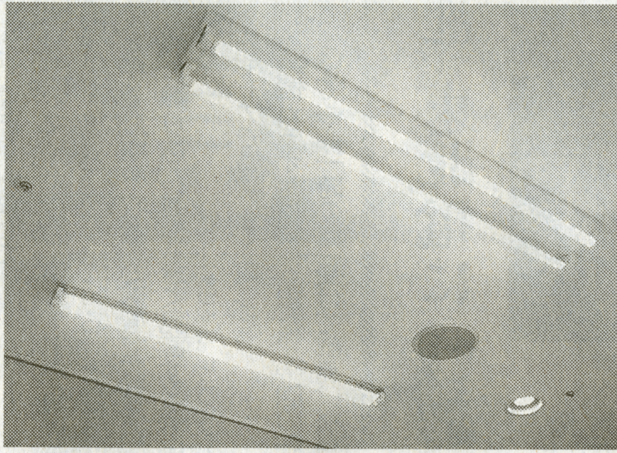
1万円切るLED蛍光灯

40ワット形で最軽量実現

年間10万本販売めざす

LED（発光ダイオード）照明開発・販売の次世代エコライト（本社名古屋市緑区鳴海町有松裏200、河辺祐治社長、電話050・3360・6492）は、40ワット形で1万円を切る低価格のLED蛍光灯を開発し、販売を開始した。スリム化と業界最軽量を実現。環境に配慮する企業や店舗などに提案する。年間10万本の販売を目指す。

（山田悠）



次世代エコライトが開発した新型のLED蛍光灯
（本社ショールーム）

同社は国内で設計や技術・商品開発を行い、中国の大手企業の提携工場で生産。日本国内に適したLED照明の販売を手がける。海外製品の代理店となって国内でLEDを販売する業者と差別化を図っている。

新たに開発した製品は、同社が昨年春から販売を開始した「イーエルチューブ」を改良した。蛍光灯のカバーの色

を透明から乳白に変え、梱包を工夫することによる物流コスト削減や、製品のスリム化による材料費削減によって、従来製品と性能を比べ、低価格を実現した。40ワットの場合、価格は9500円。直径は2・6センチ、横幅は1・2センチ。重さは360グラムと業界最軽量。消費電力は18ワット。定格寿命は約4万時間だ。同社は今回の製品を

20本以上注文した顧客に対し、7月末まで設置工事を無料にしている。リースも可能だ。

東日本震災によるニーズは高まっている。同社の受注も震災以降、大幅に伸びている。LEDタイプに変更する。

DI悪化幅が過去最大

同友会調べ
5月の景況 全業種マイナスに

愛知中小企業家同友会22と調査開始以来最大の下があったが、サブライチエーション復活で生産量が回復基調。ただ、海外企業に奪われたシェアを回復できるかといった不安の声もあるという。またそのほかの全業種でも悪化による苦しさ、今後の不透明感を拭拭できない様子が見え始める。3カ月後の次期見通しに関しては、前回調査

調査は、同会会員企業2943社を対象として5月末に実施。回収率は26・3%。

「よい」と回答した企業数から、「悪い」とした数を差し引いた業況判断のDIは、前回調査の9から、31ポイント悪化してマイナ

経営工学で運営分析

東海病院 来月16日に研究会
管理学研

東海病院管理学研究は7月16日、名古屋熱田区熱田西町1の名古屋国際会議場で第179回東海病院管理研究会「経営工学と建築計画の専門家を招き、病院内マネジメントでの経営学的分析手法の必

「よい」と回答した企業数から、「悪い」とした数を差し引いた業況判断のDIは、前回調査の9から、31ポイント悪化してマイナ